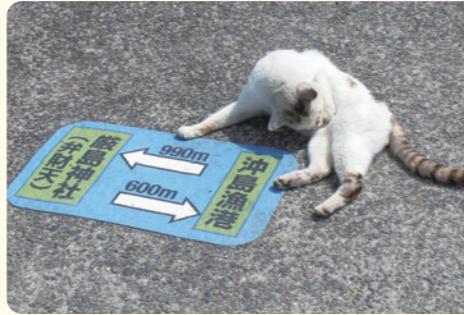


# 日本列島 離島巡り

今回は、琵琶湖に浮かぶ有人島、「沖島」(滋賀県近江八幡市)を巡っていきます。



沖島は琵琶湖最大の島であり、周囲約6.8km、面積約1.53km<sup>2</sup>、約300人の人が住んでいます。近江八幡市の堀切港から約10分、淡水湖の島に人が住む例は世界的にも少なく、貴重な島といえます。島内には車も信号もなく、ゆったりした時間の流れの中、島ならではの生活の知恵や豊かな自然が今も生きてています。



沖島の歴史は古く、万葉集にも詠まれていますが、当時は琵琶湖の航行の安全を守る神の島として崇拜される無人島だったといいます。人が住むようになったのは、保元・平治の乱に敗れた源氏の落ち武者が島を開拓し、定住したのが始まりと伝えられています。船での物流が盛んだったころは、京と日本海を結ぶ水運の重要拠点として栄えました。

現在、沖島の住民はその多くが漁業関連の仕事に携わり、琵琶湖の漁獲水揚げ量の約4割を占めています。ウナギやアユ、ワカサギ、フナ、エビ等が水揚げされますが、沖島で捕れるウナギは「びわ湖のむなぎ」として人気があり、最近増えているブラックバスを利用した「よそものコロッケ」も話題となっています。



4月上旬頃には、沖島桜まつりが開催されます。港周辺はもちろん、遠く比良山系を望む湖岸一帯が桜色になります。地元の沖島漁業協同組合婦人部「湖島婦貴(ことぶき)の会」が作るお花見弁当を食べながら、島時間を満喫するはいかがでしょう。



ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番1号  
TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184  
URL <http://www.kokudo.or.jp>

地名データベースなら国土地理へ  
**News Letter**  
TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <http://www.kokudo.or.jp>

20 Spring. 春号  
Japan Geographic Data Center  
公益財団法人  
国土地理協会

## 2019年の地名変更情報 あんな地名 こんな地名

2019年度内に新元号である「令和」に因んだ地名の新設はありませんでした。しかしながら、住居表示や区画整理等により地名自体は多く新設されています。今回は2019年度の新設地名の中でも、特徴的な地名を紹介したいと思います。

### 千葉県流山市「おおたかの森北・西・東・南」

この地名の区域内には「市野谷(いちのや)の森」という森がありました。オオタカが生息する広い森でしたが、都内で働く人々のベッドタウンとしての開発が進んでいます。多くの人々が住むようになったことで住宅地が整備され「おおたかの森」を冠する地名が新たに設定されました。ちなみに「市野谷の森」の一部は保全されており、今もオオタカがやってくるとのことです。



### 富山県高岡市「IC(アイシー)パーク」

この地名は、高岡市内の産業団地の名称として設定されたものです。「インターチェンジ(Interchange)」「産業の中核(Industrial Core)」「革新と挑戦(Innovation and Challenge)」の3つのキーワードに共通するアルファベット「IC」から付けられましたが、注目すべきは日本国内初の表記にアルファベットを含む地名であるということです。他にも高岡市には「オフィスパーク」「グリーンパーク」といった地名もあります。



### 石川県金沢市「観音町(かんのんまち) 「金石今町(かないわいまち)」など

金沢市では過去に存在していた地名を「歴史的文化遺産」とみなし、正式な地名として復活させる「旧町名復活事業」を推進しています。2019年には兼六園の北に「観音町1~3丁目」が、日本海に面した金石地区に「金石今町」「金石海善寺町(かないわかいぜんじまち)」「金石新町(かないわしんちょう)」といった地名が復活しています。



### 沖縄県中頭郡北中城村「字(あざ)ライカム」

この地名の区域内には元々「泡瀬(あわせ)ゴルフ場」という、米軍が建てたゴルフ場がありました。「ライカム」という不思議な名称も、かつて北中城村に存在した琉球米軍司令部(Ryukyu Command headquarters)の略称です。ゴルフ場の営業が終了し、跡地に建てられたショッピングセンターの名前として既に使われてきましたが「覚えやすい」「親しみやすい」などの効果を期待し、正式な地名として設定されました。



# 京都市の通り名(とおりな) その1

日本の政治の中心地として、千年以上も首都であり続けた京都の街は、「平安京」としての成立時、中国の長安・洛陽(らくよう)の都に倣って建設されました。東西南北に多数設置された「大路・小路」によって区切られた「町」を一単位としており、碁盤目状の構造が特徴となっています。

都市の発展につれて「大路・小路」は名前を変えた「通り」となり、町の区画も細分化されていきました。碁盤目状の構造自体は変わっていないものの、町の区域が複雑になっているため、場所を特定するために一般的な「町名」とあわせて通りの組み合わせをもとにした「通り名」という表記が活用されています。今回はこの通り名の表記方法を紹介いたします。今後、珍しい通り名等もご紹介したいと思います。

## 通り名の表記方法

京都市役所の所在地名を例としてみてみましょう。

京都市中京区 寺町通御池上る 上本能寺前町  
[通り名] [(本来の町名)]

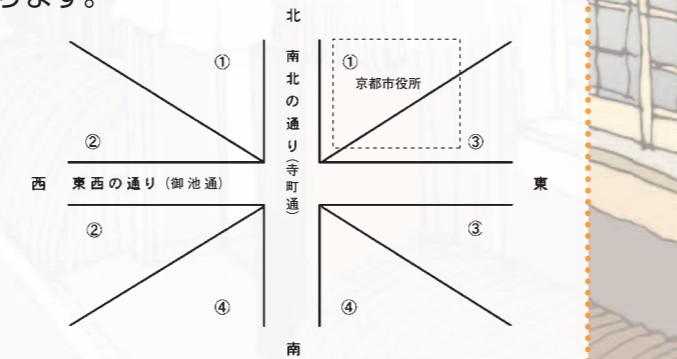
上記の地名で通り名に該当するのは「寺町通御池上る」の部分です。

通り名は住所の近くにある特定の「交差点」を構成する「南北の通りの名称」「東西の通りの名称」と、進む方向を表す「上る(あがる)」「下る(さがる)」「西入(にしいる)」「東入(ひがしいる)」といった表記から成り立っています。この通り名を分解すると、以下のような形になります。

寺町通 御池(通)  
[南北の通りの名称] [東西の通りの名称] 上る  
[進む方向]

通り名の表記は住所が交差点からみてどの位置にあるかによって書き方のパターンが決まっており、基本的には以下A～Dの4パターンの表記となります。

- A : 南北の通り+東西の通り+上る = 右図①の位置
- B : 東西の通り+南北の通り+西入 = 右図②の位置
- C : 東西の通り+南北の通り+東入 = 右図③の位置
- D : 南北の通り+東西の通り+下る = 右図④の位置



京都市役所の場合、通り名はAのパターンに該当します。上図と照らし合わせてみると①の位置にあるということになります。通り名だけで、特定の交差点から見た、だいたいの位置が分かるようになっているのです。但し、図の通り①の範囲は南北の通りを挟んだ東側・西側があり、複数の町名が該当する可能性があります。「上本能寺前町」はおおむね東側に位置しますので、この町名を通り名の後に記することで、正確な位置を表すものとなります。

ちなみに、京都市内には同じ区内の離れた場所に同一名称の町が存在することがあります。(中京区大文字町、中京区中之町 等)この場合「中京区大文字町」だけでは、どの「大文字町」か分かりません。正しく住所を表すためにも、この通り名は不可欠なものとなっているのです。

## 第33回 地図地理検定のご案内 主催(一財)日本地図センター、(公財)国土地理協会

- (1) 試験日 : 2020(令和2)年6月14日(日)  
(2) 試験時間／問題数  
地図地理検定(一般) : 13:30～14:20・全問択一式、100点満点  
地図地理検定(専門) : 15:00～16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点  
(3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡  
(4) 受検資格 どなたでも受検できます。年齢等、一切の制限はございません。

地図地理検定

検索

前回の問題は  
ここでチェック!

## 受検料

リピーター割引、学生・生徒割引、併願割引があります。

	地図地理検定(一般)	地図地理検定(専門)	一般・専門の併願
基本受検料	3,000円	4,000円	5,000円
リピーター割* 学割**	2,000円	3,000円	4,000円

\*1 リピーター割は、第31回または第32回を受検された方。

\*2 検定当日に、大学生・高校生は学生証や生徒手帳をご持参ください。

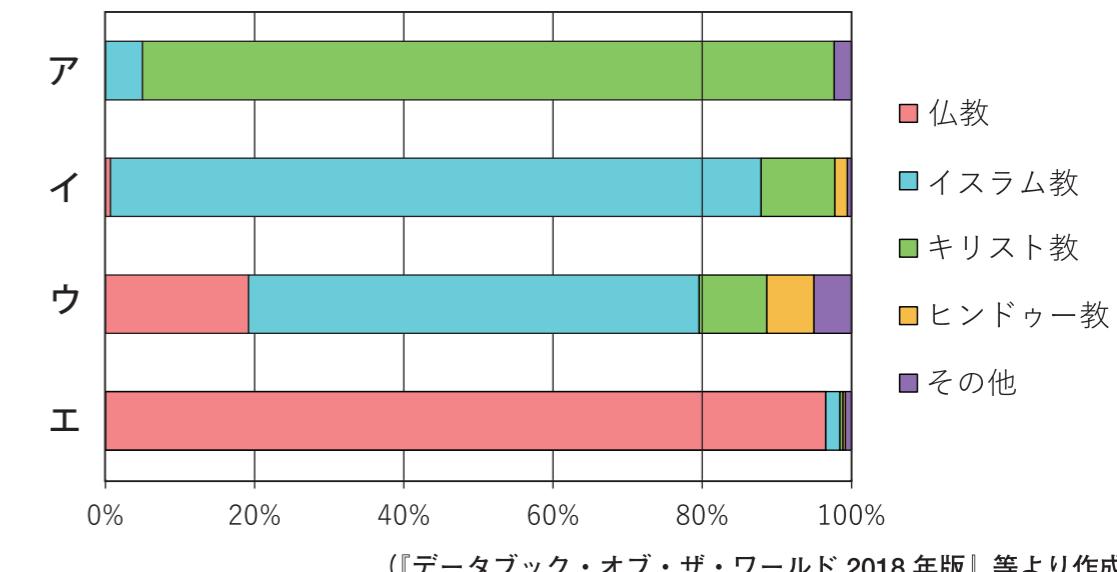
\*3 団体申込特典があります。詳しくは地図地理検定ホームページをご覧ください。

詳しくは地図地理検定ホームページ(<http://www.jmc.or.jp/chizukan/info.html>)をご覧ください。

## 地図地理クイズ!

(第29回地図地理検定より出題)

問 下の図は、インドネシア、カンボジア、フィリピン、マレーシアについて、2010年における宗教別人口割合を示したもので、図中のア～エと各国の正しい組み合わせを下の①～④のうちから1つ選びなさい。



(『データブック・オブ・ザ・ワールド 2018年版』等より作成)

	ア	イ	ウ	エ
①	フィリピン	インドネシア	マレーシア	カンボジア
②	カンボジア	フィリピン	インドネシア	マレーシア
③	マレーシア	カンボジア	フィリピン	インドネシア
④	インドネシア	マレーシア	カンボジア	フィリピン

【解説】  
ア: インドネシア  
イ: カンボジア  
ウ: フィリピン  
エ: マレーシア